

3月議会報告

反対した主な議案

◆保育所の指定管理者の指定の議案
小室 保育の質が守れない！ 市民ネットは、保育所を指定管理者制度の対象とすることに反対です。経費削減が目的となっており、児童福祉施設である保育所にはなじみません。保育士の雇用条件、資格の有無、環境などが子どもの育ちに影響を及ぼします。

◆一般会計補正予算

小室 北部、花輪保育所を指定管理にすれば雇用を不安定にし、保育士不足を招く。保育士賃金、宿舍借上げ交付金は減額。これは宿舍舎を利用する保育士が採用されなかった結果の減額であり、指定管理者制度を保育所にまで広げ、人件費削減のために雇用を不安定にしたことは問題です。



小室 衆議院解散に係る選挙費を計上。選挙費委託料（選挙費用を追加し合計で約五千百万円の経費）この解散と選挙に納得できません。

賛成した主な議案

●国民健康保険料の改正

小室 国民健康保険料値下げが実現。財政調整基金（国保の貯金）を活用し①低所得世帯②できるだけ多くの世帯③多人数世帯、それぞれの軽減を条件に試算し年間一人あたりの保険料を12,473円軽減しました。



小室みえこの一般質問での思いが実を結びました

●野田市個人情報保護条例の改正

小室 市民との意見交換の実施を評価。野田市が、「公益上特に必要」との認識で、本人の同意を得ることなく、65歳以上の高齢者名簿を警察に提供していました。しかし、条例の解釈しだいで市民の個人情報を外部に提供できてしまう仕組みが問題だとし、条例の改正を求める市民運動がおこりました。条例改正に当たり改正を求めた市民との協議を繰り返し、個人の保有している情報の開示や訂正・削除などを自分でコントロールする権利を明文化したこと

を評価しました。

2018年度

一般会計に反対

主な反対理由

◆行き過ぎた行政改革により、非正規職員が増加し、結果として市民サービスにも影響しています。

◆臨時財政対策債（借金）の発行を抑えなかったことを危惧します。

◆指定管理者制度の福祉分野への導入（特に保育所の保育士不足は人件費削減対象としたことが要因）が問題を複雑にし、保育の質が問題となっています。

◆東京直結鉄道の建設は越谷レイクタウンのまちづくりを参考例としていますが、条件があまりにも異なり財政的にも将来に負担を残します。

◆コウノトリは単なる飼育事業になっており、野田市単独での取り組みには限界があります。

◆マイナンバーに関わる予算に反対です。



平成30年度

国民健康保険 特別会計予算反対

国庫負担率を50%に戻さないと解決はしない

●広域化に反対しています。地域ごとの特性を考慮する必要があります。

●国民健康保険が赤字になったのは、国庫負担金が半減されたからです。そのため、各自治体が一般会計から法定外繰り入れをして何とか保険料を抑えるしかなかったのです。

●国保加入者は、以前は自営業や農業を営む世帯が多かったのですが、近年では非正規や高齢者が増え、所得の低い世帯の保険料が生活を圧迫しています。

●組合健保や協会けんぽ、共済組合保険に比べて、所得に占める保険料負担が大きいのです。

小室みえこのコメント

野田市が保険料を下げたことや保険施策が向上したことは評価しますが、制度自体の問題が解決したとは言えません。

自治体も国に対してしっかりと意見を出すべきです。